

蒸し暑い日が続いていますね。この湿度から体力を奪われているような気がするの私だけでしょうか？
そんな中、今年はカープも熱いです！！この勢いで最後まで走り抜けてほしいです♪

5月の定例会、直前のお知らせハガキ効果でしょうか？話題提供をしてくださった能力開発センターの方をはじめ、約20名参加して下さいました。初めて参加してくださった方が多く、いろいろなお話が聞け、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました！

能開での「からだ探検隊」3年目突入！

問題が起きてからではなく、事前の教育として対人教育プログラムを教えていきたいということなどから始まった「能開版からだ探検隊」。今年、2年間学習した訓練生が初めて卒業したそうです。

センターでの工夫点

- ・学習後、振り返り表の記入
- ・生活場面でのプライベートゾーンの確保
- ・担当職員による定期的な学習内容の確認、打ち合わせ
- ・個別でのからだ探検隊の実施
- ・定期的なからだ探検隊の実施（繰り返し学習）
- ・学習後に保護者への学習内容の報告 ⇒ 学習内容を保護者とも共有することで定着を図る（訓練終了後のプライベートゾーンの確保等の説明も行う）



取り組んだ結果

- ・「プライベートゾーン」など職員と訓練生（子ども）に共通することばかりができ、話がしやすくなった
- ・「プライベートタイム」として「一人になる時間（場所）」を確保するようになった

今後の取り組み（目標）

- ・プライベートタイム（自分の自由な時間、部屋に誰も入ってこない時間）の使い方について
- ・新しいプログラム内容の実施（妊娠、性感染症予防等）
- ・対人関係教育プログラムのテキスト本の作成

「安心できる距離」って？（プログラムより）

- ・色など視覚で距離を教えるためにサークルを使用するとわかりやすい



緑：家族
肘を曲げて腕を広げた距離



黄：友だち・先生
両手を広げた距離の内側



赤：知らない人
両手を広げた距離よりも外側

安心できる距離は一人一人違う。まずはその距離を知ることから

初めて初めて会う人とは「赤」の距離でお話しよう

「ボディータッチがある子や母親に甘えたい子には「中1になったらダメ」など見通しを立てたり、甘えたい気持ちを受けとめ、何か代わりにするものを探すといい。」など、距離感に関する話をいろいろな話せた会でした。「プライベートゾーン」と「距離の取り方」は大切なことなので、小さい頃から学べるといいな・・・と思って帰ってきました♪また、能開の方が「職員が楽しそうに取り組んでいることが訓練生にも伝わっている。大人のそのような姿が大切だと思う」話されていました。皆さんで情報交換しながら、これからも楽しく大切なことを伝えていけるといいな♪と思います。

<お知らせ>

今年も8月28日に「からだ探検隊2号・3号」が開催されます。
皆さんの参加をお待ちしています♪

